

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 早鞆 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

※ [8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

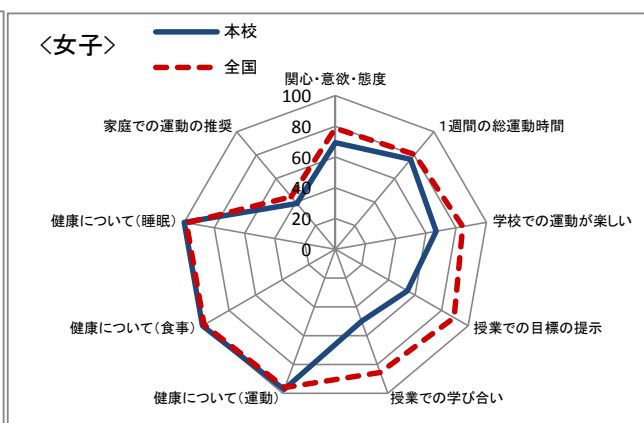
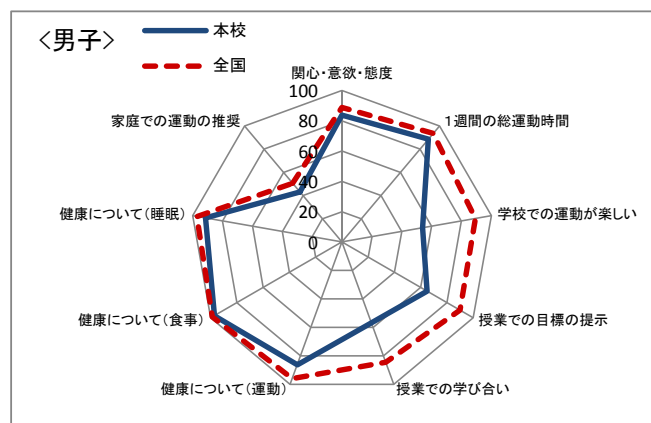
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
本市	29.96	28.56	45.76	54.26	398.34	88.17	7.81	201.18	21.22	45.36
本校全国平均以上の種目				○			○			

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
本市	24.43	24.41	48.63	48.43	297.70	60.39	8.70	175.80	12.96	52.53
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○		○	○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○健康（睡眠・食事・運動）についての意識は高い。しかし、1週間の総運動時間や学校での運動が楽しいと感じている生徒の割合は低い。授業改善とともに、「生涯にわたって体を動かすこと」や「運動と健康」についての意識の定着と向上を図る必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

○体力テストの結果を分析して、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けるよう、種目に応じた課題解決のウォーミングアップと柔軟性を向上させる運動を準備運動に取り入れる。
○生徒が目的意識をもって授業に臨む、生徒の頑張りや意識の向上を認め合える場を設定する等の授業改善に取り組むことで、生徒の関心・意欲・態度を高め、家庭での運動の推奨につなげたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○生活・保体委員会を中心に昼休みにおけるボールの貸出を奨励したり、生涯にわたって運動に親しむことの大切さを保健領域の授業等において学んだりする。また、健康の保持増進と体力向上についての学校での取組を通信等で家庭に伝えることで、家庭での運動の推奨について啓発を図る。